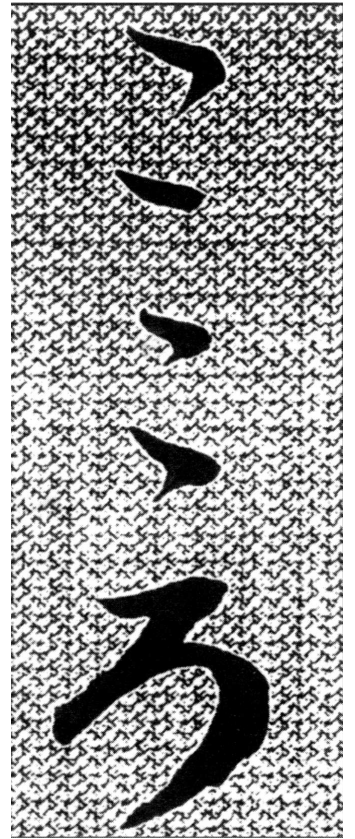


第1回神戸マラソン実施される 同窓会からも 80人が参加 給水所にて奮闘



11月20日(日)、第1回神戸マラソンが実施され、同窓会も給水ボランティアとして参加しました。同窓会は、スタートから5km地点の第1給水ポイントにおける設営、給水作業を担当。今年の海外養成塾参加者を含む新旧会員とその家族、友人、兵庫県青少年本部等、合わせて80名の参加者がありました。

朝6時30分に長田の公園に集合した参加者は4つのグループに分かれて、それぞれの島での設営を開始。テーブルを並べ、消火栓から汲んだ水を入れた数千の紙コップをテーブルの上に3段に積み上げました。

9時にスタートしたランナーが続々とやってきました。約2万3千人のランナーは想像以上の迫力で、紙コップに水を汲み続け、給水ポイントは戦場のような忙しさになりました。しかし、ランナーに紙コップを渡すと笑顔で答えてくれたり、苦しい息の中、お礼の言葉を返してくれたりするシーンも。ボランティアも拍手や声援をランナーに送っていました。

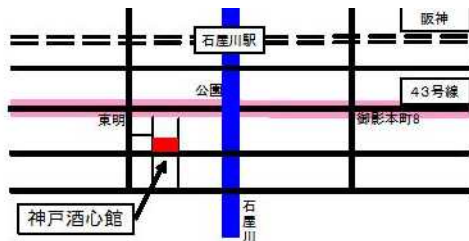
佐藤良美さん(塾1回)に話を聞くと「今年、海外養成塾に参加した為、同窓会としては初めての

発行所
兵庫県青年洋上大学同窓会
〒650-0011
神戸市中央区下山手通4-16-3
兵庫県民会館7階
TEL&FAX:078-891-7419
URL :http://hyogo-yodai.net/
E-MAIL :info@hyogo-yodai.net
発行人: 大家 重明

新春のつどい2012 ~大人のあそびば~

恒例の新春のつどいを開催します。年に一度、世代・地域を超えた交流を深めましょう。
ご家族・ご友人をお誘いの上、ぜひご参加ください。
スタッフ一同お待ちしております。

- 日 時: 平成24年1月28日(土) 14時~16時 (13時30分~受付開始)
- 会 場: 神戸酒心館 (神戸市東灘区御影塚町) (阪神石屋川駅から徒歩10分)
- 会 費: 2,500円(お土産付き)
海外養成塾生1,000円、高校生以下無料
- 内 容: 海外養成塾報告・交流ゲーム・大抽選会ほか



活動でした。異なる年代の方と関わることで、また懸命に走るランナーを僅かながらサポートでき、充実したものとなりました。来年もまたボランティアとして参加したいです。」とのこと。

吉田仁史さん(兵庫32回)は「給水所での活動でしたが、水を渡すことにランナーの皆さんから笑顔で「ありがとう」と言われ、ボランティアに参加して良かった、いい経験をさせてもらったな



と感じました。来年は走ってみたいなという気持ちになりました。」と語っていました。

また坂田忠三さん(兵庫3回)からは「走姿は美し 汗も美し 自己との闘い 尚美し!」の言葉も。

えにし 縁

掲題の「縁」は、初代学長坂井知事が兵庫6回生に送られた美しい言葉である。「縁は異なるもの味なもの」その言葉の持つ不思議さにワクワクさせられる。

それは、大海原のうねりを観た時に始まり、還暦を迎えてもまだ魔法が解けない。

卒業後も皆、一流の生き方をして、それぞれの分野でキラキラしている。

最近、知りたいことがあり、洋大の先輩に電話をしたら5000%位詳しく教えてもらった。インターネット検索を超えた回答に感動した。「持つべきは洋大の仲間」である。

これからも「縁」を推進力にして、もう100%ほど人生を楽しみたい。

兵庫6回、近畿9回
佐田 賢一郎

※次回は岡加代子さん(兵庫6回)です。

特集

初の飛行機による洋大

9月15～20日 広州・上海へ 海外養成塾参加者の感想

9月15日～20日に実施された海外養成塾参加者80人へのアンケートには、参加目標に対する自己評価、中国の教育制度・中国の学生の勉強熱心さへの驚きなど様々な感想が述べられていました。また、スタッフや他の参加者への感謝、苦言もありました。ここに、いくつか抜粋して紹介します。

■今日は最終日前夜。とても時が過ぎるのが早く淋しく思う。自分を客観的に確認できたのは大きな収穫だと感じた。
(社会人・女性)

■出発する前に立てた

「挑戦」と「一生の思い出にする」という目標も達成できたし、「一生の友達・仲間」もできた。
(社会人・男性)

■友人づくり、ネットワークづくりを目標とし



たが、自分から話しかけることがなかなかできず、他の班の人たちとの交流があまりできなかったことに悔いが残った。
(社会人・女性)

■自分の人生の一つの分岐点だと感じている

「今」に、このような体験ができて帰国後に何か自分に変化があればこの研修が良いものだったと思えると思う。
(社会人・男性)

■社会人として閉鎖的な空間で新しい仲間を作ることは難しいことです

が、養成塾で新しい出会いがあり、人間として視野が広がった。
(社会人・男性)

■私は参加する前よりも中国のことがもっと好きになったし、もっと中国のことを知りたいと思

った。(社会人・女性)

■中国の発展している所と途上の所が見られて勉強になった。

(社会人・女性)

■ホームステイ先はかなり貧しい家庭で、自分の価値観との違いに驚いたが、世界の中にはこのような生活をしている人もいるのだと身をもって体験できた。
(社会人・男性)



■中国に対してあまり良いイメージはなかったが、ホームステイ・現地

大学生との交流、交歓でイメージがガラッと変わった。普通では経験できない事ばかりの養成塾、大変良かった。
(学生・女性)

■現地の学生や県人会との交流により、彼らの勉強熱心さに感心し、彼らに負けないように自己啓発に努めようと思

った。(社会人・男性)

■日本の教育は中国に比べはるかに差があり、

もっと日本は力を入れるべきと思った。
(社会人・男性)

■今回の研修で最も驚いたのは学校訪問であ

る。中国の教育は本当に見習うべき所がたくさんあった。(学生・男性)

■異文化に触れ、日本との違いを発見する度

に、驚きとおもしろみを感じた。中国の学生の勉強熱心さに刺激を受けるだけでなく、今までの自分の怠惰を痛感させられた。
(学生・女性)

■苦い思いも楽しい思いも味わうことができ、良い研修になった。中国の学生たちに見られた学習意欲には、我々日本人が見習う点があるように考えさせられた。
(学生・男性)

■中国人学生と日本人学生のレベルの差を感じた。残念ながら我が学生達は研修という意義を忘れ、日本の恥をさらしにいったようなものだった。
(社会人・男性)

■中国人のレベルの高さと、(養成塾の)社会人のモラルの低さを比べ、日中の経済成長の違いの原因が理解できた。
(学生・男性)

■色々な体験が一日に

つまっていて、とても充実感があつた。
(学生・女性)

■とても学びの多い研修であつたが、スケジュールが忙しすぎて心体の余裕がなかった。
(社会人・女性)

■事前研修の回数が少なくコミュニケーションを取るのが難しい。スケジュールに余裕がないのが残念だった。
(社会人・男性)

■大学生との交流交歓

会は楽しかったが、日本側は一回集まっただけ。ぶっつけ本番だったので仕方ないといえども失礼だったかなと思つた。
(学生・女子)

■スタッフに質問しても答えられない。今からの行動など把握しておくべきである。
(社会人・女性)

■スタッフの方が非常に親しみやすく、本当に楽しいと思える6日間だった。スタッフの努力がとても伝わってきた。
(学生・男性)

※紙面の構成上、原文から一部抜粋して掲載しています。

平成23年度兵庫県青年洋上大学海外養成塾 日程表

- 9/15 (木) : 関西国際空港発→香港国際空港着
市内見学
香港駅発 (高速鉄道) →広州東駅着
広州泊
- 9/16 (金) : 広東省副省長表敬訪問
広州市東風東路小学校訪問
広東実験中学校訪問
現地大学生等宅でホームステイ
広州泊
- 9/17 (土) : 広東外語外貿大学・広東工業大学との交流交歓
広州泊
- 9/18 (日) : 広州市内見学
広州東駅発 (夜行寝台列車)
車中泊
- 9/19 (月) : 上海駅着
上海益力多乳品有限公司見学
上海県人会との交歓会
上海泊
- 9/20 (火) : 上海市内見学
上海浦東空港発→関西国際空港着

海外養成塾、関空から出発!

恒例の横断幕でハプニングも

9月15日10時55分関西国際空港から第1回海外養成塾参加者80名が、青空のもと全日空一七五便で香港に向けて飛び立ちました。

平日にもかかわらず、同窓会からも、12名が見送りに集合しました。これまでの港での見送りと勝手が違い、戸惑いながらも、参加者・スタッフ88名の名前が書かれたブルーシートの横断幕で団体カウンターに集合する学生達を出迎えた後、出発ゲートで見送るべく移動しました。事件はそこで起こりました。なんと空港職員に横断幕の使用を止められ



伝統?のブルーシートでの見送り

てしまったのです。やむなく、横断幕無しでの見送りとなりました。それでも、気を取り直し、口々に「いつてらっしゃい」と学生に声をかけ、無事に見送ることができました。

この教訓を生かし、関空会社と調整した結果、

5日後の出迎え時には横断幕の使用は無理でしたが、ウェルカムボードに

自治研で事後研修会

朝のつどいは「だるまさんが転んだ」

神戸市垂水の兵庫県自治研修所において10月22・23日、事後研修会が行われ、約1か月ぶりの再開に笑顔の参加者が集まりました。

子ども会連合会の浅見さんや同窓会の新庄さんを講師に、2日間にわたって海外養成塾の振り返

メッセージを掲載させてもらいました。

りから今後の活動に向けての意見交換、グループ発表等が行われました。パネルディスカッションでは、グループに分かれた参加者全員が、それぞれのパネルに記入し、真剣な表情で互いに意見を交換していました。最後に同窓会の活動、

中国の学生へ辞書贈呈

今年もまた国際交流基金による4冊の辞書が洋大生に託され中国の学生に手渡されました。

国際交流基金とは、第20回兵庫県青年洋上大学において参加学生が始めた運動に端を発します。



現地の学生と交流した後の帰国の船内で「お世話になった中国の人々に何かお返しをしたい。そして帰国後も交流を続けていきたい。」という声が起こり、「中国の学生達が「日本語の辞書が無くて困っている。」と話していた、皆で辞書を贈ろう。」と、募金を行なったことから始まりました。

この募金を預かった同窓会では、「皆さんに、私たちの思いのこもった辞書をお届けします。どうぞ、伝えて下さい。私



今後の計画の紹介の時間もあり、少しでも多くの新会員が同窓会活動に関わってくれば、と思う2日間でした。

たちの感謝の気持ちと友好交流の心をつないで下さい。未来へ!」と書いたメッセージと共に、翌年の第21回兵庫県青年洋上大学の学生へ託しました。それらは、青年洋大において市内散策等で交流を深めた南京外国語学院の学生に手渡されたということです。

同窓会では、この運動を一過性のものではなく、継続的な活動にすべく募金が集まったお金を元に国際交流基金を設立し、現在に至るまで青年洋大が実施されるたびに、この基金から辞書を購入し学生へ託し続けています。

ひまジャの旅日記・地の巻

村上隆司 (但馬地区代表) 著 1000円

全23話、兵庫25回と近畿23回から5話を収録。
洋大生必読の書?ついに文庫化実現!
旅文学の金字塔、ここに完結!
1月28日「新春のつどい」より販売開始!
「印税を同窓会にもらえたら嬉しいな」(新庄和文談)



ひまわり ～乙女たちの文明開化～

文明開化の明治、「たつ」で学問を学び、社会へ羽ばたこうとした乙女たちの青春劇
日時: 12月18日11時～、14時～
場所: たつの市総合文化会館
入場料: 大人500円
白井理恵 (兵庫20回)、寶山かおる (兵庫21回)
西山崇浩 (兵庫32回) 出演

イベント情報

野外活動体験研修

ぼくらは山賊探検隊

参加者募集中

2月11日〜12日、県下でも有数の豪雪地域である香美町にある「とちのき村」において、雪中キャンプ(野外活動体験研修)を企画しています。

選択プログラムで雪山散策、雪合戦等々、冬の但馬を雪山を満喫してください。

また、スタッフも募集中です。企画から参加したい方はもちろん、当日し



雪合戦の様子

義援金の報告

同窓会では、本部事務局や各地区で東日本大震災で被災された方々に対する義援金を募集しました。

本部事務局に寄せられた義援金5万円は、11月11日に「日本赤十字社東日本大震災義援金」へ振り込みました。

阪神地区に寄せられた義援金3,968円は、4月13日に「日本赤十字社東日本大震災義援金」へ振り込みました。

東播磨地区に寄せられた義援金20,080円は、4月23日に「財団法人神戸新聞厚生事業団」へ届けました。

会員の皆様には、多額のご支援をいただき、誠にありがとうございました。ここにお礼のご挨拶とともにご報告させていただきます。

か来れない方でも大歓迎です。

▼参加費：大人七千円(現地集合者は六千円)

▼神戸市内集合・解散

▼定員：30名程度

詳しくは本部事務局まで。

神戸 クリスマスパティー

ゲームやプレゼント交換、持ち寄りの食事でのクリスマスパーティーです。他にも楽しいプログラム

ラムを企画しています。

▼12月17日(土)

▼13時〜20時

▼上御影会館

(神戸市東灘区)

▼参加費：大人千円

(飲物代他)

▼食事持ち寄り

詳しくは神戸地区代表

春名伸泰又は本部事務局まで。



神戸 フットサル

今年の最後の事業です。年末にフットサルで汗を流しませんか。プレー後には御影で打ち上げも予定しています。

▼12月29日(木)

▼13時半〜16時

▼六甲アイランド

セゾン6i

▼参加費：五百円

詳しくは、神戸地区代表春名伸泰又は本部事務局まで。

但馬 セルカバ 秘境の滝めぐり

2月25・26日、新温泉町において但馬地区主催で「セルフデイスカバリ但馬」を実施します。

かんじきを履いての雪中滝巡りや廃校の体育館の中でのテント泊、自炊など趣向を凝らしたプログラムを企画中です。

興味のある方は、但馬地区代表村上隆司又は本部事務局まで。

定例会に 来てみませんか

毎週火曜日の18時頃〜21時頃、兵庫県民会館7階で定例会を行っています。思いかけず懐かしい顔に会う事もあります。近辺にお越しの際はぜひ、立ち寄ってください。

また現在、本部事務局を募集中です。新洋大生との事業、キャンプの企画、運営、ホームページや新聞の作成等、関心があることがあれば、一緒に活動してみませんか。

40周年へ向けて スタート

第2回地区代表者会開催される

去る10月1・2日、神戸市六甲にある神戸学生センターに大家会長以下約20名が集まり、平成23年度第2回地区代表者会が行われました。

14時から始まった審議



Iでは、今年度の事業計画・予算の見直し、運営委員会・検討委員会の設置について審議されました。

その後、海外養成塾の報告が兵庫県青少年本部の中山主幹よりパワーポイントを使って行われました。

審議II、更に翌日の午後、ワークシヨップ形式による40周年へ向けた検討が行われました。付箋や模造紙を使って、会議というよりはセミナー

の様な雰囲気の中、参加者達は活発にそれぞれの意見を述べていました。また、二日目の午前には灘五郷を散策するなど、いつもの代表者会とは一風変わったスタイルでの実施となりました。中でも、ワークシヨップでは、まず自分がやってみたい、興味のある活動・事業をそれぞれが書き出して、グループ毎にまとめて発表。全体として、どのような事業に関心があるのか、互いに認

識しあいました。

翌日は、自分の地域で紹介したいものを列挙する事から始まり、最終的に全員の意見を集約した結果、「阪急今津線等の映画のロケ地を使った事業」「但馬の天滝等での四季を織りなす自然を使った事業」があまりありました。事業とは誰かが決めるのではなく、皆で意見を出し合い、自分の思いが反映して出来あがるのだと思えた瞬間でした。

参加者一人一人が自ら立案に参画する事を実感しながらの事業企画となりました。ここで生まれたいアイデアをぜひ来年度に生かしたいと感じました。

編集後記

神戸マラソンの給水ボランティアに参加しました。ランナーへ紙コップを手渡ししていると、自分もこのイベントに参加しているのだなと実感することが出来ました。ランナー、ボランティア、そして沿道の声援も皆、参加者なんですね。

終了後に青空の下、昔懐かしいメンバーと食べたオニギリも美味しかったです。

来年は、同窓会設立40周年！こういう一体感のある活動を展開したいものです。 山下剛史